

9月定例活動

柴刈り大会・いのちの谷整備



「相生山にも**猿**が出たんだって！」
名古屋東南部に出没していた猿が相生
山緑地でもたびたび目撃され、くらぶ

員の阿部さんも集いの広場から見晴らし台へ行く途中で出会ったという。



猿注意の看板が掲示されたオアシスの森で、9月27日、恒例の柴刈り大会を行いました。このところ柴刈りと言うと、ヒサカキやウルシなどの除伐が定番でしたが、今年はカシナガ被害の防止対策としてコナラの萌芽更新をもっと当たり前にする意図で、コナラの除伐に取り組みました。カシナガ被害

害にあたり、他の木の影になり元気がないものや、ヤマザクラの成長の妨げになっているものなどを中心に各自手ノコギリで除伐を行いました。直径15cm程度のものは手ノコでも簡単に倒せるが、30cmほどになるとさすがに交代でノコを挽かないと息があがる。

切り倒したコナラは冬にしいたけのほだ木として使うために、定尺に切りそろえ林内の木陰に積んでおく。ほだ木に使えない太いものや枝葉は人と生き物との境界を分けるために積み上げる。切り倒した跡は、所々にギャップが出来、来年の萌芽や新しい植物の出現が期待され、充実した一日でした。(大館)

11月定例活動

竹林の整備



11月定例会は竹林管理です。前日の寒さから一転して暖かな日となり作業には絶好の日和となり、約10人の会員が作業に汗を流しました。

今回は小屋西の竹林の整備を行いました。この場所は私のお気に入り、

大きなヤマザクラがあります。

過去にも何回か整備をした場所ですが、時間の経過に伴い竹が繁茂して荒れてきていました。里山保全には終わりが無いことに、あらためて森くらぶの歴史を感じます。午前中の作業で現場は見違えるように綺麗になりました。



▲サツマイモの収穫のようす

昼休みには、河野さんが育てたサツマイモを焼き芋にして、皆で輪になって食べました。最近では作業の合間にち

よっとした交流があり、これも活動の楽しみになっています。

昼からは切り出した竹を炭の材料に整える作業を行いました。各自切り出した竹の整理や材料づくりに汗を流しました。竹を一定の長さに切りそろえ四分分割して節を取り除き整えた竹材は、天日干して炭焼きに備えます。

この時期の竹林管理は毎年の定例となっており、何も考えなくても体が動きます。私自身、森の仕事は生活の一部になっていることを改めて感じます。

なお、今回の材料で作る竹炭は、3月の萌木まつりに利用する予定です。炭火で焼いたシイタケ(これも自家製)を肴に、会員の皆さんと杯を交わすのも楽しみなことです。(村田)

12月定例活動

正月準備 & 梅の剪定



穏やかな日に恵まれ、森くらぶのメンバー10名、一般の飛び入りも10名を越えて、にぎやかな本年最後の定例会となりました。

門松作りにも慣れてきて、^{あうん}阿吽の呼吸で作業が進み、昼食前に立派な門松が出来上がりました。門松の前で全員で記念撮影をして昼食。午後はとんぼ池周りの梅の剪定と畑の拡張作業をしました。新メンバーの宮田さんはプロの腕前で、数年放置され、のび放題で無惨な姿の梅の木が、見違えるように

スッキリとなりました。春が楽しみです。

畑の拡張もはかどって、陽も通らず風通しも悪かった南斜面がすっきりと明るくなって、とんぼ池周辺の景色が“まさに里山”に変身しました。春にはカエルたちの楽園になるでしょう。

(伊藤 晶)

